

★調査資料★

バイオプラスチックに関する Q&A（疑問と答） 25

プラスチック資源循環戦略、および 循環促進法(新プラ法)に在来プラスチックの有力な代替材料のひとつとして、バイオプラスチックが挙げられており、バイオプラスチックへの関心は非常に高くなっております。一方、バイオマスプラスチック、生分解性プラスチック、マスバランスと重要用語についても錯そうや使われる意味も人、業界によって混乱している場合も見受けられます。このような中、PPS では、実際に業務に携わっていらっしゃる方向けに、新形式での資料を企画いたしました。PPS の代名詞ともなっている 100 答/100 問にヒントを得、バイオプラスチックに関する疑問に対して、系統別の答えを準備するという方式です。ご検討よろしくお願ひ致します。

代表 設問例

- ・なぜ、バイオプラスチックはこんなに材料が多いのか？
- ・現時点で、追跡しておく必要がある主要企業はどこか？
- ・マスバランスのポテンシャル：実力は？ 主流になるか？
- ・導入ロードマップでは、地産地消が重要視されているが、候補としては何か
- ・PLA が日本での伸びる可能性は？
- ・PHA の可能性は？ Bio-PET はどうなるか？
- ・全体的に俯瞰することが重要だと感じたが、一目でわかる図はないか？
- ・結局、バイオプラスチックの将来は明るいと言えるか？

発刊予定：2022年11月24日 体裁：A4版、95頁
価格：99,000円（税込）、
調査・発行(共同)：テクノリサーチ、企画・発行(共同)：東洋紡 PPS

PPS 情報担当者行き

「バイオプラスチックに関する Q&A（疑問と答） 25」申込書

(株)東洋紡PPS 下記共通 e-mail に送信をお願い致します。

東洋紡 PPS： semi@toyobo-pps.co.jp

貴社名				申込日	
住所	〒				
TEL			FAX		
所属			役職		
フリガナ 氏名			E-mail		
冊数	冊				

◆お問い合わせ先：(株)東洋紡パッケージング・プラン・サービス 大阪
〒530-0003 大阪市北区堂島2丁目1番16号 フジタ東洋紡ビル 4階
TEL 06-6348-1363 情報担当者宛 e-mail: semi@toyobo-pps.co.jp

【お客様情報の取扱いについて】

ご記入事項は、今回のお申込確認などの事務処理、弊社および東洋紡グループ会社からのご案内のみに利用いたします。ただし、他社出版物で、弊社が取次販売する為に版元からの要請があった場合は、会社名情報のみ開示することがあります。

目次

<基礎編>

1. バイオプラスチックの主要な材料
2. バイオプラスチックと認証マークの関係
3. バイオプラスチックの生産能力の現状と今後の見通し

<材料編>

4. PLA(ポリ乳酸)の現状と今後の可能性
5. 日本市場での PLA 製品は伸びる可能性
6. バイオポリエチレン(Bio-PE)の将来性
7. Bio-PET の動向と可能性
8. ポテンシャルの高い PEF の可能性
9. バイオマスバランスのポテンシャルとその実力
10. PHA(ポリヒドロキシアルカン酸)の可能性
11. PHA の主な企業
12. 生分解性樹脂の商材上の注意点
13. 生分解性樹脂が普及している国、地域は
14. 製品のライフサイクルアセスメント(LCA)

<地域編>

16. 世界の国別、地域別の生産能力等
17. アジア①(中国)のバイオプラスチック関連企業の動向
18. アジア②(韓国及びタイ)のバイオプラスチック関連企業の動向

<実用編>

19. 各種の材料を試してみたいが、手近な購入ルートを教えてほしい
20. 一目でわかる業界全体俯瞰図
21. 代替施策:リサイクルプラとバイオプラの比較
22. 3年後、5年後の見通しが外れたりすることが多いようだが
23. 現時点で、追跡しておく必要がある主要企業はどこか
24. 各国の全体戦略と政策
25. 地産地消(ライスレジン他)

結論

付録① コンテンツ早見表

付録② JBPA

European Bioplastics 会員取扱い材料

付録③ バイオプラスチック導入ロードマップ概略図

便覧 Q20 俯瞰図:詳細版(A3: 折り込み)